

令和5年度年間事業報告（せとうち）

1. 入居者の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 長期入居

① 入居者数

区分	男	女	合計		
入居者数	22人	55人	77人	最高齢	102歳
入所	7人	21人	28人	最年少	48歳
退所	8人	22人	30人	平均年齢	87.7歳

② 入居者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59歳	1	0	1
60～69歳	0	0	0
70～79歳	4	4	8
80～89歳	9	25	34
90～99歳	8	23	31
100歳～	0	3	3
計	22	55	77

③ 入居者要介護度別一覧表（人）

要介護度	男	女	計
要介護1	2	2	4
要介護2	0	3	3
要介護3	6	8	14
要介護4	6	16	22
要介護5	8	26	34
計	22	55	77
平均介護度	4.0		

(2) 短期入居

① 利用状況 *R5.4～R6.3 末までの総数

性別	利用者数				
男	35	最高齢	100歳	実施日数	365日
女	71	最年少	47歳	利用延人数	7097人
計	106	平均	86.0歳	一日当たり利用者数	19.4人

② 利用者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59歳	0	1	1
60～69歳	1	1	2
70～79歳	10	10	20
80～89歳	15	20	35
90～99歳	9	37	46
100歳～	0	2	2
計	35	71	106

③ 入居者要介護度別一覧表（人）

要介護度	男	女	計
要支援1	0	1	1
要支援2	1	0	1
要介護1	7	18	25
要介護2	8	19	27
要介護3	5	14	19
要介護4	9	10	19
要介護5	5	9	14
計	35	71	106
平均介護度	2.7		

(3) 稼働率表

年度	提供月	長期						ショートステイ						合計			入居申込	
		利用者数	延利用者数	平均利用者数	延入院日数	稼働率	平均介護度	利用者数	延利用者数	平均利用者数	稼働率	平均介護度	全体稼働率	平均利用者数	新規申込	申込者数		
R5年度	4月	76	2280	76.0	90	95.0%	4.1	50(内 新規5)	539	18.0	89.8%	3.3	94.0%	2	132			
	5月	71	2274	73.4	186	91.7%	4.1	53(内 新規8)	598	19.3	96.5%	3.3	92.6%	5	134			
	6月	73	2182	72.7	195	90.9%	4.1	48(内 新規3)	573	19.1	95.5%	3.4	91.8%	2	132			
	7月	74	2260	72.9	206	91.1%	4.1	49(内 新規2)	624	20.1	100.6%	3.3	93.0%	3	131			
	8月	75	2335	75.3	128	94.2%	4.1	51(内 新規6)	642	20.7	103.5%	3.2	96.0%	3	69			
	9月	75	2250	75.0	156	93.8%	4.0	49(内 新規4)	610	20.3	101.7%	3.0	95.3%	8	77			
	10月	69	2248	72.5	209	90.6%	4.0	55(内 新規8)	679	21.9	109.5%	3.1	94.4%	6	81			
	11月	73	2151	71.7	227	89.6%	4.0	49(内 新規1)	610	20.3	101.7%	3.1	92.0%	3	77			
	12月	71	2268	73.2	152	91.5%	4.1	47(内 新規2)	588	19.0	94.8%	3.2	92.1%	4	79			
	1月	74	2249	72.5	182	90.7%	4.0	41(内 新規2)	583	18.8	94.0%	3.1	91.4%	1	77			
	2月	74	2168	74.8	137	93.4%	4.0	47(内 新規5)	551	19.0	95.0%	3.0	93.8%	3	77			
	3月	71	2256	72.8	206	91.0%	4.1	42(内 新規2)	513	16.5	82.7%	3.3	89.3%	2	69			
	R5.4~R6.3 平均	73.0	2243.4	73.6	2074	92.0%	4.1	48.4	592.5	19.4	97.1%	3.2	93.0%	42				

(4) 福祉有償運送 (R5.4~R6.3 末)

①登録者数（人）

瀬戸内市	51
岡山市	17
計	68

②運行件数（件）

用途	通院	332
	買い物	9
	行楽等	23
	その他	19
運行件数合計		383
総運行距離		3456.6 km

③ 事故、苦情件数（件）

事故件数	0
苦情件数	0

2. 援助実施の状況

(1) 生活援助

① 食事の提供と援助

個別に入居者一人ひとりに見合った適正な栄養管理を行い、季節感のある美味しい食事を提供できるよう努めた。季節感のある食事を提供する為、毎月1日は赤飯の日とし、月1~2回はお寿司の日を設ける他、季節行事食の提供を行った。また月に1回、リクエストメニューの日を設け、入居者の食べたいものを提供している。低栄養状態の改善に努めることで生活意欲の向上を図り、また栄養士、看護師を中心として体重の減少や極端な増加を予防することで健康の維持に努めた。誤嚥防止に努め、一人ひとりのペースに合った食事の摂り方に取り組んできた。

今年度も、新型コロナウイルスの感染防止対策のため、年2回の昼食バイキングは中止したが、各フロアでの食事レク・おやつレクは定期的に行った。レストランなどへの外食レクも再開し、デザートバイキングは集まることでの密を避け、フロアごとに実施した。

② 口腔ケア

歯科医師の助言・指導の下、日々の口腔ケアを徹底し、口腔機能の維持に努めた。

③ 入浴援助

ご本人の身体状況に合わせ、個浴、チェア浴、ストレッチャー浴の中からより安全な入浴方法を選び、必要に応じて看護師も付添を行い、週2回入浴を実施した。体調の悪い時は、清拭・陰部洗浄などで清潔保持に努めた。

④ 排泄援助

個々の入居者の排泄リズムを把握し、可能な限りトイレでの排尿・排便を行うとともに、オシメを外し、布パンツの使用へ変更することにも取り組んだ。介助の際には、羞恥心・プライバシーに配慮し、清潔保持や不快感の軽減に努めた。

⑤ 外出援助

飲食を伴う外出を再開し、自宅への外出や季節行事などの形で実施した。看取り期の利用者の一時帰宅については、ご本人、ご家族の希望に沿う形で実施した。

(2) 健康管理

入居者の日常の健康状態については、常に情報把握するとともに、身体の変化、又は異常が認められた場合には、嘱託医の診察や病院受診、状況報告を行い適切な対応を行った。

① 入居者の健康管理

毎日の健康状態を把握し、服薬、常備薬の管理及び往診、通院の調整を行った。

② 嘱託医師による定期的な診察

週 2 回（水・金）藤田病院 藤田琢二 Dr 往診

週 1 回 えたに歯科 往診

③ 健康診断（藤田病院）

④ 協力病院との提携（入居者の通院及び入院）

⑤ 感染予防対策

環境衛生及び消毒の徹底、職員の手洗い・うがい、手指の消毒、居室・フロアの換気の励行、来館者の手指の消毒・検温・マスク着用の徹底、予防策周知に努めた。

⑥ 職員の衛生管理

職員個々の衛生管理、健康管理について適切な助言を行う。夜勤者以外の職員については年 1 回、夜勤者に対しては年 2 回の健康診断と腰痛検査を実施した。

⑦ 日常生活動作の維持

理学療法士の指導の下、レクや日々の生活の中で体を動かしていただく機会を作り身体機能の維持に努めた。

(3) 感染症対策

新型コロナウイルスが 5 類移行となったが、入居者・職員ともに手洗い・うがいの実施、日々の検温、マスクの着用、生活スペースや手の触れる場所の消毒、時間を決めての換気を、引き続き励行し、集団生活下での感染症予防に努めた。

職員に対しては、出勤時の検温と、健康チェック表の記入を義務付け、定期的な抗原検査を実施し健康状態の把握を行った。

今年度も、インフルエンザ、ノロウイルスの感染者は 0 名であったが

R5 年 12 月に新型コロナウイルス感染者が 3 名発生(本館 3 階入居者)。

発生後、感染者発生フロアにおいては感染の拡大防止策を講じ、12/29～1/5 まで感染者の施設内療養を行った。

来館者にはマスクの着用、手指の消毒、検温、来館者名簿の記入を徹底し、事務所受付、相談室など対面となる箇所にはアクリル板を設置した。

家族面会は、玄関前に面会場所を設け、時間・人数を制限して実施した。また、LINE でのビデオ通話にも引き続き対応し、遠方に住むご家族とも交流機会を持っていただけるよう努めた。

3. 行事・ボランティア、実習等について

(1) 行事・ボランティア等

実施日	行事内容	場所
4 月	全体外出行事（花見）	三徳園、西寺

	花見外出	各フロア
5月	全体外出行事 母の日 ちとせこども園芋苗植え	バラ園 各フロア 芋畑
6月	父の日	各フロア
7月	七夕 歌のボランティア (コーラスグループ「奏」) 全体行事(アイスクリームレク)	各フロア 新館地域交流スペース 各フロア
8月	花火大会	玄関前
9月	敬老会	新館地域交流ホール
10月	せとうち秋祭り ちとせこども園芋堀り 全体食事レク(駅弁の日)	職員駐車場 芋畑 各フロア
11月	福田地区文化祭 イルミネーション点灯	福田コミュニティセンター 玄関前、藤棚
12月	クリスマス会 全体行事(お飾り作り)	各フロア 新館地域交流スペース
1月	初詣外出	各フロア
2月	節分	各フロア

【定期的な行事】

- ・理美容…第1,3月曜日
- ・移動図書館…第3金曜日
- ・移動販売車とくし丸…毎週木曜日
- ・音楽の時間…毎月1回開催
認知症ケアの一環として、音楽を通じ入居者との関わり方を学ぶ
- ・介護予防ショートステイ(毎月開催)
毎月テーマに合わせ機能訓練指導員による講話・体操・レクリエーションを実施

(2) 地域貢献活動

本年度も、地域の高校などとの交流や福祉教育を行った他、せとうち食堂(こども食堂)を定期的に開催し、地域の子どもや保護者の方に食事や遊び、交流の場を提供した。また、開催にあたり入居者家族や地域の学生等にもボランティアとして参加いただき、近隣の商店や農協等よりたくさんの食材の寄付をいただいた。

令和5年度 地域貢献・交流活動 実績(せとうち)				
月日	活動	内容	担当	場所
4月15日	せとうち食堂	カレーライス チャレンジコーナー	田中、藤原	特養せとうち
5月17日	講師	福祉講座	吉川、橋本	邑久高等学校

		地域学(セトリー)		
5月20日	せとうち食堂	そばめし チャレンジコーナー	田中、藤原	特養せとうち
6月17日	せとうち食堂	海苔弁当 チャレンジコーナー	田中、藤原	特養せとうち
6月22日	講師	レクについてグループワーク参加	安井、吉川、渡辺、渡	邑久高校
7月12日	外部委員	セトリー運営指導委員会	吉川	邑久高等学校
7月15日	せとうち食堂	ハンバーガー チャレンジコーナー	田中、藤原	特養せとうち
8月19日	せとうち食堂	天ぷらうどん チャレンジコーナー	田中、藤原	特養せとうち
9月13日	交流会	対面での交流会	原、橋本、吉川、安井	特養せとうち
9月16日	せとうち食堂	カレーライス チャレンジコーナー	田中、藤原	特養せとうち
10月21日	せとうち食堂	鶏そばろ井 チャレンジコーナー	田中、藤原	特養せとうち
10月25日	ベルマーク寄付	ベルマーク収集 寄付	特養せとうち ショート棟	特養せとうち (ZOOM) 国府小学校
11月18日	せとうち食堂	ロールサンド チャレンジコーナー	田中、藤原	特養せとうち
11月18、19日	地域交流	喜之助人形劇フェスタ参加	太田、安井、原、吉川	瀬戸内市中央公民館
11月21日	見学会	裳掛地区サロン会施設見学	吉川	特養せとうち
12月16日	せとうち食堂	中華丼 チャレンジコーナー	田中、藤原	特養せとうち
1月18日	外部委員	セトリー実践報告会 運営指導会議	吉川	邑久高等学校
2月17日	せとうち食堂	ハヤシライス チャレンジコーナー	田中、藤原	特養せとうち
3月16日	せとうち食堂	ライスバーガー チャレンジコーナー	田中、藤原	特養せとうち

(3) 実習受け入れ

① 介護福祉実習Ⅱ-① (特養)

岡山医療福祉専門学校より2名 (9/19~10/18)

② 介護福祉実習Ⅰ-③ (特養)

岡山医療福祉専門学校より2名 (10/30~11/19)

③ 介護福祉士実務者研修 (特養、小規模) 介護実習、訪問介護同行訪問

ウェル福祉学習センターより 3 名 (6/2～6/9)

④ 主事実習Ⅱ-② (特養)

旭川荘厚生専門学校より 1 名 (8/21～8/25)

(4) 職場体験

①教育職員介護等体験

就実大学より 1 名 (8/7～8/11)

川崎医療福祉大学より 1 名 (8/21～8/25)

②職場体験学習

邑久中学校より 3 名 (10/16～19)

4. 会議・委員会等の運営

施設の管理・運営や援助方針の統一化を図るため各会議を定例的に行い、入居者の生活援助の向上と充実を図るため各職種の代表者により委員会を運営した。

会議・委員会名	実施内容
全体会議 (隔月第 4 火曜日)	奇数月第 4 火曜日に全職員参加で開催。各部署からの連絡事項の伝達、研修報告の他、法人・各委員会などが勉強会を実施している。
全体研修 (隔月第 4 火曜日)	偶数月第 4 火曜日に全職員参加で開催。研修報告の他、法人・各委員会などが勉強会をオンラインで実施している。
部署間会議 (毎月第 3 火曜日)	施設長、副施設長、介護課長、各フロアリーダー、小規模管理者、居宅管理者、看護、ケアマネ、相談員、事務が出席し、各事業所の運営状況、課題の把握と改善等について話し合う。
フロア・ユニット会議 (毎月不定期)	フロア・ユニットごとに実施し、業務内容の確認、検討を行う。
食事・レク 委員会 (3 か月毎第 1 火曜日)	・法人内のレクリエーションやクラブ活動の検討、運営 ・入居者の状態に適した食事の検討を行い、食事に関する要望に対し、各ユニット・厨房との話し合いを行っている
事故防止委員会 (隔月第 2 火曜日)	・事故原因と対応策の検討。苦情・要望等の内容と対応経過についての報告、再発防止策を検討し、実施している。

感染症及び食中毒対策・ 褥創予防委員会 (3 か月毎第 4 火曜日)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策における知識習得のための研修を実施した（嘔吐処理の方法、感染症、食中毒に関する知識）。 ・褥瘡のある方の経過観察・報告を行っている。 ・新型コロナウイルスなど感染症発生時の対応の検討 ・職員・入居者に手洗い・うがいの徹底、消毒・換気など衛生管理の実施。
身体拘束廃止・ 虐待防止委員会 (3 か月毎第 4 火曜日)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束「0」、虐待防止のための取り組みを検討・実施。職員の虐待防止への意識を高める目的で、アンケートの実施や研修を行っている。
認知症ケア委員会 (3 か月毎第 2 水曜日)	認知症ケアの推進や知識向上を目的として、職員への研修や利用者への音楽療法の取り組みを実施。
秋祭り実行委員会 (5 月から 9 月まで 毎月第 1 水曜日)	秋祭りの企画・運営等行う。
接遇・研修委員会 (隔月第 1 月曜日)	施設内での接遇・研修活動の企画や運営を実施。また、職員の外部研修の調整も行う。
基本技術向上委員会 (毎月第 2 金曜日)	介護グランプリ出場を通し、介護技術やサービスの質の向上を目的として実施している。
入居判定委員会 (毎月第 3 火曜日)	入居候補の方を面接後、施設の受入を検討する
ユニットケア推進委員会 (隔月第 1 木曜日)	ユニットケアを元に入居者 1 人 1 人のその方らしい暮らしを実現するため業務改善や様々な取り組みを検討・実施する。

5. 防災計画

(1) 避難訓練

R5.10.10 本館 2 階 206 号室からの出火を想定し、火災発見、通報、初期消火、避難場所（新館廊下）への避難誘導、消防本部の設置の訓練を実施した。

R6.2.13 本館 1 階厨房からの出火を想定し、火災発見、通報、初期消火、避難場所（新館フロア）への避難誘導、消防本部の設置の訓練を実施した。

※実際に避難する利用者は、当日の体調が良い方のみとし、誘導を実施した。

(2) 水害避難訓練

R5.6.5 増加する水害に備え、吉井川氾濫を想定した水害避難訓練を実施した。

吉井川の水位が氾濫危険水位に到達し、福田地区に警戒レベル 3、「高齢者等避難」が発令したと想定して、小規模利用者を 3 階、本館 1 階入居者を 2 階に避難誘導し、非常品の移動を行った。その後、福田地区に警戒レベル 4「避難指示」が発令されたと想定し、本部を新館 3 階に移動し、全職員が 2 階以上に避難した。終了後、非常食を実食する体験も行った。

6. 事例検討

日常のケア・業務を意識化して「事例」として取り上げ、「検討」を加えることにより、職員の援助技術を高めることを目的として毎年取り組んでいる。せとうちから3グループ、せとうちの郷から2グループを作り、それぞれがテーマを決めて半年間研究を行った。今年度は報告動画を撮影し、動画視聴という形式で発表・投票を行った。

令和5年度のテーマ

- ・「自立支援から自律支援へ」 豊田チーム（小規模せとうちの郷）
- ・「郷のチームワーク」 松尾チーム（特養せとうちの郷）
- ・「SETOUCHI Well Being」 橋本チーム（特養せとうち）
- ・「想いをかたちに」 山本チーム（特養せとうち）
- ・「ユニットケア推進報告」 小林チーム（特養せとうち）

7. 研修

(1) 職員研修

令和5年度研修実施実績（せとうち）					
月	日	研修内容	主催者（講師）	場所	参加者
4	3～28	新人職員研修（新卒者）	法人	特養せとうち	村上、柏野、中桐、 兒子、安武、坂口、 黒原
	14	ケアマネ部会	ケアマネ瀬戸内 市支部		石田
	24	普通救命講習	瀬戸内消防本部	特養せとうち	村上、柏野、中桐、 兒子、安武、坂口、 黒原
	25	全体研修 接遇マナーについて	接遇・研修委員	特養せとうち	全職員
5	11	サロン会	ケアマネ協会瀬 戸内支部		石田
	16	令和5年度岡山県老人福祉 施設職員研究発表会	岡山県老人福祉 施設協議会	きらめきプラザ	大城、吉川大、伊 東、小松原
	23	全体会議 食中毒予防、衛生管理研 修、リハビリについて ユニットケアについて	感染症及び食中 毒対策 理学療法士 安 井	特養せとうち	全職員

	31	R 5 年度 岡山県社会福祉法人青年会総会	岡山県社会福祉法人経営青年会	きらめきプラザ	吉川課長
6	2	備前地区老人福祉施設協議会 施設長会議	備前地区老人施設協議会	第一セントラルビル 2 号館会議室セントラルフォレスト	大城施設長
	5	水害訓練	接遇・研修委員	特養せとうち	全職員
	14	岡山県老人福祉施設協議会 第 1 回総会	岡山県老人福祉施設協議会	きらめきプラザ	大城施設長
	15	認知症キャラバン	瀬戸内市	特養せとうち	石田
	21	岡山県老人福祉施設協議会 次世代委員会総会及びセミナー	岡山県老人福祉施設協議会	きらめきプラザ	吉川課長
	27	全体研修 腰痛予防について ユニットケアについて	接遇・研修委員 ユニットケア推進委員会	特養せとうち	
7	14	介護支援専門員更新研修	介護支援専門員協会		石田、井筒
	26	全体会議 緊急時の対応・事故防止研修 BCP 研修、ACP について	事故防止委員会 BCP 策定委員会、 ACP (永井)	特養せとうち	全職員
	31	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	E ラーニング	吉川大輔
8	9	社会福祉法人主任/係長講座	名鉄観光サービス (株)	オンライン	大城憲一郎、藤原要子、湊健二郎、下山貴史、藤本悠里、田中寿一
	22	全体研修 看取りについて 介護技術について	接遇・研修委員 介護技術向上委員会	特養せとうち	全職員
9	4.5.19.20	介護支援専門員更新研修	介護支援専門員協会		石田 祥子
	26	全体会議 身体拘束、虐待防止、権利擁護 安全運転研修、ACP について	身体拘束・虐待防止委員会 安全運転管理者、 永井	特養せとうち	全職員

10	12	安全運転管理者等法定講習	岡山県公安委員会	オンライン	吉川 大輔
	24	全体研修 尿路感染について ユニットケアについて	接遇・研修委員 ユニットケア推 進委員会	動画配信	全職員
11	22	業務改善研修	岡山県社会福祉 協議会	きらめきプラザ	大島 恭子
	28	全体会議 QCサークルについて、感 染症予防研修・訓練、事故 防止研修、ハラスメント研 修	村田製作所、感染 委員会、 事故防止委員会、 研修委員会	特養せとうち	全職員
12	26	事例検討プレゼン大会	研修委員会	動画配信	全職員
1	18	邑久高校セトリー運営指 導委員会 第2回運営会議	岡山県立邑久高 校	邑久高校	吉川大輔
	19	クリエイトセミナー	岡山県社会福祉 法人経営者協議 会	第一セントラル ビル1号館 9階大ホール	吉川大輔
	19	令和5年度備前地区老人福 祉協議会・職種別(相談員) 研修会		Cenntal Forest8F(Grove)	坂口恵莉
	23	全体会議 認知症研修、 BCP研修、プライバシー保 護・倫理・法令遵守	認知症ケア委員 会 BCP策定委員会、 研修委員	特養せとうち	全職員
2	27	全体研修 クレーム対応について	接遇・研修委員	動画配信	全職員
3	14	自家用有償旅客運送制度 全体説明会	国土交通省中国 運輸局岡山運輸 支局	オンライ ン (zoom)	吉川大輔
	27	全体会議 身体拘束、虐待防止、権利 擁護 褥瘡予防について	身体拘束委員会 感染委員会	特養せとうち	全職員

令和5年度年間事業報告（せとうちの郷）

1. ご入居者の状況（令和6年3月31日現在）

（1）長期入居

① 入居者数

区 分		男	女	合 計	年 齢	
現入居者数		9人	20人	29人	最高齢	99歳
年間	入所	3人	5人	8人	最年少	74歳
	退所	4人	4人	8人	平均	87歳

② ご入居者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59歳	0	0	0
60～69歳	0	0	0
70～79歳	1	2	3
80～89歳	6	10	16
90～99歳	2	8	10
100歳～	0	0	0
計	9	20	29

③ ご入居者の要介護度（人）

要介護度	男	女	計
要介護1	1	0	1
要介護2	1	2	3
要介護3	0	6	6
要介護4	2	5	7
要介護5	5	7	13
計	9	20	29
平均介護度	3.8		

（2）短期入居

① 利用状況 *令和4年4月～令和5年3月末までの総数

男	17	最高齢	96歳	実施日数	365日
女	33	最年少	62歳	利用延人数	3,380人
計	50	平均	86歳	一日当たり利用者数	9.2人

② ご利用者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59歳	0	0	0
60～69歳	1	1	2
70～79歳	5	2	7
80～89歳	5	12	17
90～99歳	6	18	24
100歳～	0	0	0
計	17	33	50

③ ご利用者の要介護度（人）

要介護度	男	女	計
要支援1	0	0	0
要支援2	0	0	0
要介護1	6	6	12
要介護2	3	5	8
要介護3	3	9	12
要介護4	2	12	14
要介護5	3	1	4
計	17	33	50
平均介護度	2.8		

特養・ショートステイ現況報告

年度	提供月	特養						ショートステイ						合計		
		利用者数	延利用者数	平均利用者数	延入床日数	稼働率	平均介護度	利用者数	延利用者数	平均利用者数	稼働率	平均介護度	全体稼働率	平均利用者数	新規申込	入居申込
令和5年度	4月	30	809	27.0	22	93.0%	3.9	18 (内新規1)	276	92	92.0%	3.1	92.7%	36.2	6	71
	5月	30	876	28.3	7	97.4%	3.9	18 (内新規0)	288	93	92.9%	3.1	96.3%	37.5	2	69
	6月	31	806	26.9	63	92.6%	3.9	19 (内新規1)	265	88	88.3%	3.1	91.5%	35.7	2	65
	7月	29	836	27.0	63	93.0%	3.8	22 (内新規4)	302	97	97.4%	2.9	94.1%	36.7	1	60
	8月	29	849	27.4	50	94.4%	3.8	21 (内新規3)	255	82	82.3%	2.8	91.3%	35.6	3	61
	9月	30	846	28.2	18	97.2%	3.8	21 (内新規2)	284	95	94.7%	2.8	96.6%	37.7	2	62
	10月	29	851	27.5	42	94.7%	3.8	21 (内新規0)	293	95	94.5%	2.9	94.6%	36.9	3	65
	11月	30	830	27.7	49	95.4%	3.9	21 (内新規0)	257	86	85.7%	2.8	92.9%	36.2	2	57
	12月	29	873	28.2	26	97.1%	3.9	25 (内新規7)	281	91	90.6%	2.9	95.5%	37.2	2	40
	1月	29	835	26.9	64	92.9%	3.9	27 (内新規2)	307	99	99.0%	2.9	94.5%	36.8	4	42
	2月	30	821	28.3	20	97.6%	3.9	24 (内新規3)	268	92	92.4%	2.8	96.3%	37.6	1	45
	3月	29	831	26.8	68	92.4%	3.8	26 (内新規3)	304	98	98.1%	3	93.9%	36.6	3	46
	RSJ~RS3 平均	30	838.6	27.5	492	94.8%	3.9	21.9 新規計 26	281.7	92	92.3%	2.9	94.2%	36.7	31	

(3) 小規模多機能ホーム

① 利用状況 *令和5年4月～令和6年3月末までの総数

男	15	最高齢	97歳
女	33	最年少	52歳
計	48	平均	83.6歳

② 利用者の年齢構成 (人)

年齢区分	男	女	計
40～59歳	0	1	0
60～69歳	1	1	2
70～79歳	6	6	12
80～89歳	4	16	20
90～99歳	4	9	13
100歳～	0	0	0
計	15	33	48

令和5年度現況報告 小規模多機能ホーム

	月	利用者数	契約率	泊	訪	通	介1	介2	介3	介4	介5	支1	支2	平均	
														介護度	
令和5年度	4月	27名	93%	72	655	405	9	3	6	1	3	3	2	1.9	
	5月	23名	79%	42	590	376	8	3	4	1	2	3	2	1.8	
	6月	22名	75%	42	560	381	8	3	4	1	1	3	2	1.7	
	7月	28名	96%	57	561	438	11	4	4	1	1	4	3	1.5	
	8月	28名	96%	62	451	460	11	4	4	3	1	3	2	1.8	
	9月	26名	89%	70	396	433	10	4	4	3	1	2	2	1.8	
	10月	26名	89%	116	422	478	10	5	3	3	1	2	2	1.8	
	11月	27名	93%	110	479	475	11	4	4	3	1	2	2	1.8	
	12月	27名	93%	80	473	443	11	5	4	3	0	2	2	1.7	
	1月	28名	96%	105	425	446	12	5	4	3	0	3	1	1.7	
	2月	27名	93%	97	416	467	10	6	4	3	0	3	1	1.7	
	3月	28名	96%	102	452	498	11	6	4	2	1	3	1	1.8	
	総数	317名			955	5880	5300	122	52	49	27	12	33	22	
	平均	26名	93.1%		79.6	490	441.7	10.2	4.3	4.1	2.3	1.0	2.8	1.8	1.8

2. 援助実施の状況

(1) 生活援助

① 食事の提供と援助

科学的介護情報システム(LIFE)の栄養マネジメント強化加算を、継続させていただいている。ご入居者一人ひとりに見合った適正な栄養管理を行い、季節感のある美味しい食事を提供するよう努めた。当施設の食事として、毎月1日は赤飯の日とし、月2回はお寿司の日を設けている。昨年度より引き続き、誕生日には、プチケーキを用意したお誕生日膳を提供している。また、年に1回行っている嗜好調査により、ご利用者の意見を反映できるように、献立を作成した。新型コロナウイルスが5類移行となったが、感染防止のため食事のイベントは昨年同様中止し、各個人に向けて豪華な食事提供を行った。また、リクエストメニューや行楽弁当メニューを取り入れるなど、施設の中でも喜んでいただける献立作りに取り組んだ。低栄養状態のご利用者の改善に努めることで、生活意欲の向上に繋がった。また、栄養士や看護師を中心として、体重の減少や極端な増加を予防することで、健康の維持に努めた。誤嚥防止や、一人ひとりの食事摂取状況に応じた食事提供に取り組んできた。

② 入浴援助

ご入居者の身体状況に合わせ、個人浴槽・座った姿勢で入れるリフト浴・寝た姿勢で入れる機械浴槽の中から、安全でご入居者に合った入浴方法を選び、必要に応じて看護師も付き添いながら、最低週2回入浴を実施した。2階ユニットにおいては事例検討により、同性による入浴介助を行うようになり、現在も継続している。体調の悪い時は、清拭や陰部洗浄、足浴などで清潔保持に努めた。また、皮膚疾患があり清潔保持が必要なご入居者には、適宜入浴やシャワー浴を追加した。

③ 排泄援助

羞恥心やプライバシーに配慮しながら、一人ひとりのご入居者の排泄リズムを把握し、トイレでの排尿や排便を、可能な限り行った。介助の際には、一人ひとりの状態にあったオムツの使用および交換に努め、不快感や不衛生の軽減に努めた。オムツやパット等の見直しも、随時行った。

④ 外出援助

新型コロナウイルスや、その他の感染症対策を行いながら、短時間での外出支援を実施した。

(2) 健康管理

ご入居者の日常の健康状態については、常に情報把握するとともに、身体の変化や異常が認められた場合には、嘱託医の診察や状況報告を行い、適切な対応を行った。

① ご入居者の健康管理

毎日の健康状態を把握し、服薬、常備薬の管理および往診、通院の調整を図った。また、新型コロナワクチン・インフルエンザワクチンの接種を実施した。

② 嘱託医師による定期的な診察

週 1 回水曜日に藤田病院・藤田琢二医師の往診、随時中里歯科医院の往診を行った。

③ 健康診断（藤田病院）

④ 協力病院との提携（入居者の通院および入院）

⑤ 感染予防対策

環境衛生および消毒の徹底、職員の手洗い・うがい、居室、フロアの換気の励行、来館者の手指の消毒・マスク着用の徹底、予防策周知に努めた。また、加湿器を使用して冬場の湿度管理を行った。

⑥ 職員の衛生管理

職員個々人の衛生管理、健康管理について適切な助言を行う。夜勤者は年 2 回、夜勤者以外の職員は年 1 回の健康診断と、腰痛検査を実施した。

⑦ 日常生活動作の維持

レクリエーションや生活の中で、体を動かす機会を作り、機能の維持に努めた。

(3) 機能訓練

個別訓練と、介護スタッフで行っている体操や立ち上がり訓練を、今年度も継続的に実施し機能維持を目指した。臥床時間が長くなりやすいご入居者も、体位変換やポジショニングを行うことで、褥瘡の予防や改善を行った。また、離床し車いすに移る時間を持つことにより、概ね身体機能の維持を行うこともできた。さらに、他職種と連携することで、異常がみられた時に、早期に支援方法や体操の方法を変更することができ、身体機能の改善に繋がった。

(4) 感染症対策

ご入居者、ご利用者および職員ともに手洗いやうがい、手指消毒を徹底し、室内の換気を励行して集団生活下での感染症予防に努めた。今年度も、インフルエンザやノロウイルスの感染はみられなかった。新型コロナウイルスの感染は、特養ご入居者 1 名、小規模多機能ホームご利用者 1 名、職員 8 名の感染者が発生した。外部からの感染予防のため、職員は出勤時に健康チェック・検温を行い、施設に出入りするご家族や業者等関係者にも手指消毒、マスク着用、検温を励行した。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、面会は昨年度より 1F 相談室での面会を継続した。ショートステイや小規模多機能ホームのご利用者に対しては、サービス利用時にご家族を含めた健康管理等を確認している。

(5) 生活環境の整備

ご入居者が居心地よく過ごせるように、居室や各フロア的环境整備、および雰囲気作りを行った。共同生活室には季節ごとの飾りつけを行い、また四季折々の花を生けて家庭的で明るい雰囲気作りに努めた。

(6) 特養2F

ご入居者、ショートステイご利用者の要望に沿った余暇活動や、個別外出を実施した。多職種と協力しながら、ご入居者のニーズの把握や情報共有に努め、その方らしい生活が送れるよう支援した。昨年同様ショートステイご利用者のご家族に、利用中の様子を写真に撮りお渡ししており、ご家族からも喜びの声をいただくことができた。

(7) 特養3F

事例の取り組みにより、余暇の過ごし方やご入居者との関わり方を見直す機会となった。また、他フロアの良いところを取り入れ、昼食前に体操で身体を動かす機会を作り、ご入居者同士や職員との関わりの時間となった。普段、ベッド上で過ごされることが多い方には、シャボンラッピングの方法を用いての関わりや、リラックスできる時間を提供した。職員の関わりへの意識も向上しており、引き続き、その方に合った余暇の提供を行う。

ケアの見直しを継続して行い、統一したケアを実施する。

(8) 小規模多機能ホーム

福祉の実習生や、地域の中学生の職場体験で来た学生との交流で、普段は見られないご利用者の一面を見る事が出来た。コロナ禍で行事やイベントが少なかったが、施設内での運動会・ハロウィンパーティー・秋祭り・忘年会・節分・バレンタインパーティー・お花見等を感染に注意しながら開催し、ご利用者に喜んでいただくことが出来た。

3. 行事・ボランティア・実習等について

(行事)

実施日	行事内容	場所
4/4	お花見外出	観音院
4/5	お花見ランチ (雨天のため、屋内にて開催)	駐車場
5/14	母の日	各フロア・小規模
5/22	スペシャルスイーツデイ	各フロア・小規模
5/31	芋の苗植え	地域交流スペース前の畑
6/7	運動会・お弁当の日	地域交流スペース
6/18	父の日	各フロア・小規模
6/23	選択おやつ	各フロア・小規模
7/22	セレクトスイーツ	各フロア・小規模
8/3	小規模夏まつり	小規模
8/22	夕涼み会	1F 足湯前
9/13	敬老会 (めぐみこども園リモート交流)	各フロア・小規模
9/22	スペシャルスイーツデイ	各フロア・小規模
10/1	祝 8周年 開設記念日ケーキの日	各フロア・小規模
10/25	芋掘り【めぐみこども園合同】	地域交流スペース前畑
10/27	行楽弁当の日	各フロア・小規模
10/28	秋祭り	各フロア・小規模
12/22	ゆず湯	各フロア・小規模
12/25	クリスマス会	各フロア・小規模
1/15	とんど焼き	地域交流スペース前畑
1/20	新年お祝い膳	各フロア・小規模
1/22	スペシャルスイーツデイ	各フロア・小規模
2/3	豆まき	各フロア・小規模
2/15	お寿司ランチ	各フロア・小規模
3/3	ひなまつりランチ	各フロア・小規模
3/14	ホワイトデーケーキの日	各フロア・小規模

※リクエストメニューの日 毎月 20 日

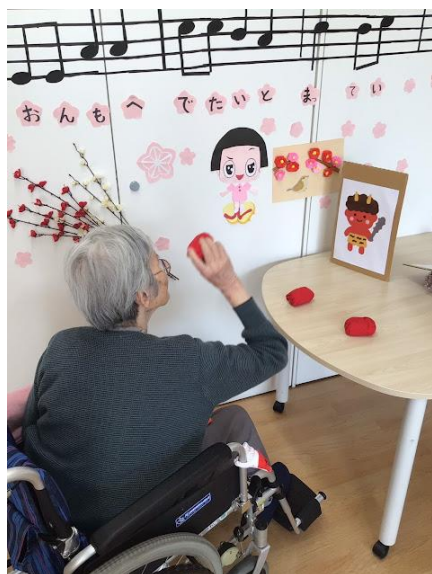
(敬老会)



(秋祭り)



(豆まき)



【定期的な行事】

- ・理美容（第1月曜日）
- ・移動図書館（第3金曜日）
- ・移動販売とくし丸（水曜日）
- ・足湯の日（金曜日）
- ・音楽療法（第2木曜日）
- ・にこにこ会（水曜日、第2・第4木曜日）
- ・藤花ちゃん食堂（第4土曜日）

（藤花ちゃん食堂）

⇒令和2年度より中止

⇒令和2年度より中止

⇒令和2年度より中止

⇒令和4年11月より開始

（移動販売とくし丸）



（2）ボランティア

- ・岡山市社会福祉協議会を通じ、夏季休暇中に上南中学生とその保護者 計10名受入
- ・岡山医療福祉専門学校 10/28の秋まつりで5名受入

（3）職場体験学習

- ・旭東中学校 5/9～5/11の3日間 3名受入
- ・岡北中学校 11/8～11/10の3日間 1名受入
- ・西大寺中学校 11/14～11/16の3日間 2名受入

（4）介護実習

◎岡山医療福祉専門学校

- ・介護福祉学科1年生
(9/19～9/22の4日間、2名を小規模多機能ホームで受入)
(9/25～9/28の4日間、2名を小規模多機能ホームで受入)
(10/30～11/9の期間、土日を除く8日間、特別養護老人ホームで2名受入)
(12/25～12/28の期間、土日を除く4日間、特別養護老人ホームで2名受入)
(令和6年3/11～3/14の期間、土日を除く4日間、特別養護老人ホームで1名受入)
- ・介護福祉学科2年生
(6/12～6/30の期間、土日を除く15日間、特別養護老人ホームで2名受入)

◎旭川荘厚生専門学院

- ・介護福祉学科 1 年生

(9/4～9/11 の期間、土日を除く 6 日間、小規模多機能ホームで 2 名受入)

- ・介護福祉学科 2 年生

(5/22～6/14 の期間、土日を除く 18 日間、特別養護老人ホームで 1 名受入)

◎岡山瀬戸高等支援学校 3 年生

(5/29～6/16 の期間、土日を除く 15 日間、小規模多機能ホームで 1 名受入)

(10/2～10/20 の期間、日祝を除く 15 日間、特別養護老人ホームで 1 名受入)

◎北部高等技術専門学校 (ウェル福祉学習センター)

(6/2～6/9 の期間、小規模多機能ホームで 4 名受入)

(5) インターンシップ

- ・邑久高校

(7/25～7/27 の 3 日間、特別養護老人ホームで 1 名受入)

- ・ESD 学生インターンシップ

(8 月～9 月の期間、7 日間、1 名受入)

- ・多職種協働ケアを学ぶインターンシップ

(令和 6 年 1/27、藤花ちゃん食堂と小規模多機能ホームで 1 名受入)

4. 会議・委員会等の運営及び職員研修

施設の管理・運営や援助方針の統一化を図るため各会議を定例的に行った。また、ご入居者の生活援助の向上と充実を図るため、各職種の代表者により委員会を運営した。職員研修では、経験や職種に応じた外部研修に参加するとともに、施設内でも定期的に研修を行うことで、専門的な知識や技術の向上に努めた。

会議・委員会名	実施内容
全体会議	奇数月第 4 金曜日に全職員参加で開催し、各委員会からの報告、研修（感染症対策、事故防止、虐待防止）などを行う。
全体研修	全職員を対象に動画聴講にて開催し、専門的な知識や技術の向上や外部研修に参加した職員による伝達研修などを行う。（詳細は 11～12 ページ参照）
経営会議	各拠点の管理者及び役職者が出席し、法人としての検討事項について協議及び決定・情報共有を行う。
部署間会議	各部署の責任者が出席し、特養・ショートステイ・小規模の現況報告、施設の経営状況や運営、今後の課題等を検討する。

フロア会議	フロアごとに実施し、業務内容の確認、検討を行う。
食事・レク 委員会	施設全体のレクリエーション行事の運営を行っている。ご入居者の状態に適した食事の検討を行い、食事に関する要望に対し、各部署と厨房との話し合いを行っている。
事故防止委員会	事故原因の分析と再発の防止の対応策を検討するとともに、災害時の避難訓練や車両事故の防止、啓発活動に努める。
身体拘束廃止委員会	「より良いケア」を実現するために、身体拘束「0」を目指して、職員教育の研修の実施。また身体拘束廃止のための取り組みを検討・実施している。
虐待防止委員会	虐待防止に向けて、職員教育の研修を実施する。また、他施設での虐待事例などを職員へ周知する。
感染症及び食中毒 対策及びまん延防止 委員会	感染症対策として吐瀉物の処理方法、感染症、食中毒についての職員周知や勉強会を実施。インフルエンザや新型コロナウイルス対策として職員・入居者に手洗い・手指消毒の徹底を励行する。
褥瘡予防委員会	褥瘡のある方の経過観察・報告を行う。
研修委員会	年間の研修計画を立案し、全体研修の内容の考案など、職員の資質向上に努めている。
行事委員会	施設全体行事の運動会、敬老会、秋祭りの企画運営を行う。
入居判定委員会	入居候補の方を面接後、岡山県の入所指針に基づき施設での受入を検討する。
運営推進会議	奇数月第4金曜日に、地域住民や区市町村職員に対して、提供しているサービスの内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスとすることで、事業所運営の透明性の確保やサービスの質の確保・向上を目的とし、現況の報告や運営に関する要望や助言を聴く。

5. 防災計画

(1) 避難・消火訓練など

- 6/9 夜間に新堀川の水位が上昇したことを想定して、小規模ご利用者を2階または3階に避難誘導を行う、水害避難訓練を行う。
- 7/14 夜間に3階より出火したと想定して、火災発見・通報・初期消火・一時避難場所への誘導などの訓練を行う。
- 11/10 2階より出火したと想定して、火災発見・通報・初期消火・一時避難場所への誘導などの訓練を行う。岡山市東消防署より消防署員4名に見学していただき、避難誘導等の指導を受ける。

(火災避難訓練)



(消防署員による消火器訓練)



(2) 防犯安全対策

3ヵ月毎に電気錠の暗証番号の変更を行い、安全の確保に努めた。また、事務所職員が退勤後は、20時まで宿直職員が事務所に待機をしている。

6. 事例検討

日常のケア・業務を意識化して「事例」として取り上げ、「検討」を加えることにより、職員の援助技術を高めることを目的として毎年取り組んでいる。せとうちの郷からは2グループを作り、テーマを決めて令和5年6月1日～11月30日にかけて研究を行い、令和6年1月の事例検討プレゼン大会（オンライン）にて発表を行った。

令和5年度のテーマ

- ・『 郷のチームワーク 』
- ・『 自立支援から自律支援へ 』

令和5年度階層別研修(せとうちの郷)

目標	新卒者(1年目)新人(2年以下)職員研修・・・社会人としての自覚と基礎的技術・知識の習得
	中堅職員研修(新卒・新人・リーダー・サブリーダー)・・・実践的専門的な知識・技術の習得、問題解決能力の向上
	指導的職員研修(リーダー・サブリーダー等)・・・職員指導・研修に関する知識技術の向上

2024/4/17

現在

月	日	研修内容	主催者 (講師)	新人	中堅	指導的	全体研 修	全体会 議	外部 研修	人数	参加者
4	1か月	新人研修(スケジュールおよび内容は別紙)	藤花会	○							
	オンライン	看取りについて	研修委員会	○	○	○	○			52	全職員
	18	25年卒インターンシップ等で成果を出すための「5つ」のポイント	株式会社ディスコ		○					1	杉山
5	12	水害避難訓練	事故防止安全管理委員会	○	○	○				29	全職員
	16	岡山県老人福祉施設職員研修発表会	岡山県老人福祉施設協議会						○	4	大城、相澤、森田、杉山
	17	高齢者等入所系施設における新型コロナウイルス感染症の5類移行後の対応に関する研修会	岡山市保健所						○	3	相澤、片山、豊田
	26	食中毒予防研修①	感染症及び食中毒対策委員会	○	○	○		○		31	全職員
6	9	水害避難訓練	事故防止安全管理委員会	○	○	○				24	全職員
	14	岡山県老人福祉施設協議会 第一回総会	岡山県老人福祉施設協議会				○			1	大城
	16	皮膚排泄ケア(藤田病院看護部教育研修)	藤田病院		○	○				2	染谷、加島谷
	19	『福祉ネイル』ネイルで笑顔や癒しをお届け	岡山県小規模多機能型居宅介護連絡会				○			2	豊田、田邊
	20	救命救急研修	岡山市消防局	○	○					10	奥田・田中・高瀬・宮本・平國・新造・相澤・宇野・山口・森田
	21	岡山県老人福祉施設協議会 次世代委員会総会	岡山県老人福祉施設協議会 次世代委員会				○		○	1	森田
	24	「介護の社会化」と家族介護	岡山市		○				○	1	杉山
	30	子どもの居場所づくりネットワーク交流会	岡山市社会福祉協議会				○		○	1	森田
オンライン	救命救急	研修委員会	○	○	○	○			71	全職員	
7	7	2023年度 藤田病院 看護部教育研修 感染管理	川崎医科大学総合医療センター 領域別 認定看護師			○			○	1	松浦
	14	火災想定避難訓練	事故防止安全管理委員会	○	○	○				15	全職員
	28	身体拘束予防研修①	身体拘束防止委員会	○	○	○		○		28	全職員
	28	人権擁護研修	虐待防止委員会	○	○	○		○		28	全職員
	オンライン	介護施設における安全対策担当者研修	虐待防止委員会			○			○	1	鈴木

8	9	社会福祉法人主任・係長講座	全国社会福祉法人経営者協議会						○			○	1	森田
	7	2023年度 藤田病院 看護部教育研修 脳卒中リハビリテーション看護	川崎医科大学総合医療センター 領域別 認定看護師						○			○	1	奥田
	25	認知症について	研修委員会	○	○	○	○						62	全職員
	29～30	中国地区老人福祉施設研修	中国地区老人福祉施設協議会						○	○		○	4	大城、相澤、森田、杉山
9	5～8	ユニットリーダー研修	一般社団法人日本ユニットケア 推進センター						○			○	1	奥山
	6	クリオ第2回会議	岡山障害者雇用企業研究会「ク リオ」						○			○	1	杉山
	8	2023年度 藤田病院 看護部教育研修 認知症看護	川崎医科大学総合医療センター 領域別 認定看護師						○			○	1	奥田
	15	第10回SDGs講義	リコージャパン岡山支社						○			○	1	杉山
	22	事故発生予防研修①	事故防止安全管理委員会	○	○	○						○	27	全職員
	22	褥創予防研修	褥瘡予防委員会	○	○	○						○	27	全職員
	24	認知症介護実践リーダー研修 (～R6/1/14))	公益財団法人 岡山市ふれあい公社							○			2	岩藤・中村
10	6	2023年度 藤田病院 看護部教育研修 糖尿病看護	川崎医科大学総合医療センター 領域別 認定看護師						○			○	1	田邊
	18	救命救急	研修委員会	○	○	○	○						11	大立、木村、児子、安武、 坂本、染谷、研修委員
	19	令和5年度事例検討発表会	岡山県小規模多機能型居宅介 護連絡会						○				1	豊田
	23	事業主支援ワークショップ	岡山障害者職業センター						○			○	1	杉山
11	9～10	中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー	鳥取県社会福祉施設経営 者協議会						○			○	1	杉山
	10	2023年度 藤田病院 看護部教育研修 慢性心不全看護	川崎医科大学総合医療センター 領域別 認定看護師						○			○	1	田邊
	11	火災避難訓練	事故防止安全管理委員会	○	○	○							27	全職員
	19	令和5年度事例検討発表会	岡山県小規模多機能型居宅介 護連絡会						○			○	1	豊田
	24	感染症予防研修①	感染症及び食中毒対策委員会	○	○	○						○	25	全職員
	24	BCP研修	部署間会議	○	○	○						○	25	全職員
	29～30	令和5年度全国老人福祉施設大会・研究会議	公益社団法人全国老人福祉施 設協議会							○			○	1

12	1	2023年度 藤田病院 看護部教育研修 がん薬物療法看護	川崎医科大学総合医療センター 領域別 認定看護師		○				○	1	松浦	
	2	私たちが目指す介護保障のあり方について	岡山市						○	2	豊田・森田	
	6	事業所見学会	小規模多機能ホーム あゆむ 喜の家		○	○			○	3	豊田・万代・忠重	
	14	2023年版 岡村一心堂病院 緩和ケア病棟研修	社会医療法人 岡村一心堂病院 緩和ケア病棟		○	○			○	1	豊田	
	15	2023年度 藤田病院 看護部教育研修										
1	5~28	事例検討プレゼン大会(動画視聴)	せとうち研修委員会 事例チーム		○	○	○	○			全職員	
	26	令和5年度社会福祉法人の地域における公益的な取り組み推進に関する意見交換会	岡山市社会福祉協議会 東区事務所			○	○			○	3	正富・相澤・森田
	30	食中毒予防研修②	感染症及び食中毒対策委員会		○	○	○		○			全職員
	30	感染症予防研修②	感染症及び食中毒対策委員会		○	○	○		○			全職員
	オンライン	介護労働者雇用管理責任者講習	介護労働安定センター岡山支部			○				○	1	杉山
2	13~26 オンライン	2024年度の介護保険制度改正と介護報酬改定 ～報酬・運営基準等の改定と介護実践の変化～	公益財団法人 介護労働安定センター 岡山支部				○			○	2	正富・豊田
	15~16	甲種防火管理新規講習	岡山県消防設備協会				○			○	1	森田
	19	令和5年度社会福祉法人の地域における公益的な取り組み推進に関する意見交換会	岡山市社会福祉協議会 東区事務所			○	○			○	1	森田
	27	岡山DWAT 備前圏域 DWATチーム連絡会	社会福祉法人 誠和 特別養護老人ホーム あじさいのおか牛窓			○	○			○	1	森田
	29	感染症対策のための実地での研修	厚生労働省			○	○			○	8	豊田・田邊・相澤・ 片山染谷・宇野・ 山本香・逸見
3	12~25 オンライン	介護現場のリスクマネジメント ～多職種での情報共有をどう進めるか?～	公益財団法人 介護労働安定センター 岡山支部				○			○	1	正富
	22	事故発生予防研修②	事故防止安全管理委員会		○	○	○		○			全職員
	22	腰痛予防研修	研修委員会		○	○	○		○			全職員
	22	虐待防止研修	虐待防止委員会		○	○	○		○			全職員
	22	身体拘束防止研修②	身体拘束防止委員会		○	○	○		○			全職員
	26	会陽の里 デイサービスセンター 運営推進会議	会陽の里 デイサービスセンター				○					正富・森田